


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010101

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
救急救命士等研修訓練事業		5,650 千円	千円	千円	162 千円	5,488 千円
消防本部 総務課						
根拠法令	消防法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的 救急救命士・大型自動車・大型特殊自動車運転資格者を養成し、円滑に隊・車両の運用を図ります。 ・事業の対象 市民の生命、身体及び財産 					
事業の必要性	消防体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	SDGs17の目標  <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士養成 救急救命士を養成するために、年次計画に基づき、札幌市消防局救急救命士養成所へ職員を1名派遣しました。 ・大型自動車運転免許資格者養成 大型自動車運転免許を年次計画に基づき5名養成しました。 ・大型特殊自動車運転資格者養成 大型特殊自動車運転免許を年次計画に基づき1名養成しました。 					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	5,650 千円	担当正規職員	5,622 千円		0.8 人	
人件費	5,622 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用(フル)	千円		人	
総計	11,272 千円	再任用(ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	救急救命士養成		人	1	1	1
	大型自動車運転免許資格者養成		人	5	8	9
	大型特殊自動車運転資格者養成		人	1	2	0
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	資格者を養成し、円滑に隊・車両の運用を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができるのと同時に、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	消防車両等の運用に支障を来さないために、救急救命士や大型自動車運転資格者の養成を計画的に行います。					
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010102

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
緊急消防援助隊合同訓練事業		303	千円	千円	千円	千円	303 千円
消防本部 総務課							
根拠法令	消防法						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	・事業の目的 緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。 ・事業の対象 市民の生命、身体及び財産						
事業の必要性	消防体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。						
事業の内容	SDGs17の目標  ・緊急消防援助隊 北海道・東北ブロック合同訓練（中止）						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (R1年度決算額)	303	千円	担当正規職員	1,405	千円	0.2	人
人件費	1,405	千円	嘱託職員	千円			人
			再任用(フル)	千円			人
総計	1,708	千円	再任用(ハーフ)	千円			人
			任期付職員	千円			人
			臨時職員	千円			人
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	R1年度	H30年度	H29年度
	緊急消防援助隊合同訓練（北海道・東北ブロック）			回	0	1	1
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができるとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。						
事業の課題、今後の方向性等	緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上のために、計画的に訓練へ参加します。						
特記事項							


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 02非常備消防費

事務事業番号 09010201

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
消防団活性化事業		2,142 千円	千円	千円	千円	2,142 千円
消防本部 総務課						
根拠法令	消防法					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	・事業の目的 消防団員の消防技術の向上を図ります。 ・事業の対象 市民の生命、身体及び財産					
事業の必要性	消防体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	SDGs17の目標  <ul style="list-style-type: none"> ・苦小牧市総合防災訓練 直下型地震を想定した災害対応訓練に消防団員38名が参加し、避難誘導活動や、土砂災害救出訓練を行いました。 ・北海道消防操法訓練大会 本大会は毎年開催されており、苦小牧市からは11年ぶりに出場しました。消防活動の充実を目的として、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることができました。 ・多数傷病者事故対応訓練 大地震発生を想定した災害対応訓練に消防団員27名が参加しました。消防職員と連携し住宅の倒壊による瓦礫除去、傷病者の搬送活動を行いました。 					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	2,142 千円	担当正規職員	1,405 千円		0.2 人	
人件費	1,405 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用 (フル)	千円		人	
総 計	3,547 千円	再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	胆振地方消防訓練大会		回	-	1	-
	多数傷病者事故対応訓練		回	-	中止(災害)	1
	苦小牧総合防災訓練		回	1	-	-
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	消防団員の消防技術の向上を図ります。					
事業の課題、今後の方向性等	消防団員の消防技術の向上のために、計画的に訓練に参加します。					
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010301

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
消防施設・装備等整備事業		47,561 千円	23,573 千円	7,000 千円	千円	16,988 千円
消防本部 総務課						
根拠法令	消防法					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	・事業の目的 災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した資機材等を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。 ・事業の対象 市民の生命、身体及び財産					
事業の必要性	消防体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	SDGs17の目標  <ul style="list-style-type: none"> 救急資機材の更新（1式） 高度救急処置シミュレーター 静脈路確保困難モデル 分娩介助モデルセット 防火衣の更新（60式） 消防用ホースの更新（130本） 50mm×20m 50本 65mm×20m 80本 小型動力ポンプの購入 防火水槽の新設 					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	47,561 千円	担当正規職員	10,541 千円		1.5 人	
人件費	10,541 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用（フル）	千円		人	
総計	58,102 千円	再任用（ハーフ）	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	救急資機材		式	1	1	0
	防火衣		式	60	120	0
	消防用ホース		本	130	130	120
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	老朽化した資機材等の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができるとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	消防体制の維持、強化のために、計画的な更新をしていきます。					
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010302

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
消防車両整備事業		142,021 千円	131,300 千円	千円	千円	10,721 千円
消防本部 総務課						
根拠法令	消防法					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	・事業の目的 災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した消防車両を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。 ・事業の対象 市民の生命、身体及び財産					
事業の必要性	消防体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	SDGs17の目標  <ul style="list-style-type: none"> 化学消防ポンプ自動車の更新（錦岡1号） 水槽付消防ポンプ自動車の更新（植苗分団号） 					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	142,021 千円	担当正規職員	10,541 千円	1.5	人	
人件費	10,541 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	152,562 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度	
	化学消防ポンプ自動車	台	1	0	1	
	水槽付消防ポンプ自動車	台	1	0	0	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	老朽化した車両の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができるのと同時に、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	消防体制の維持、強化のために、計画的な更新をしていきます。					
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010303

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
救急車両整備事業		28,123 千円	25,000 千円	千円	千円	3,123 千円
消防本部 総務課						
根拠法令	消防法					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	・事業の目的 災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した消防車両を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。 ・事業の対象 市民の生命、身体及び財産					
事業の必要性	救急体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	SDGs17の目標  ・救急車両の更新（1台）					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	28,123 千円	担当正規職員	10,541 千円		1.5 人	
人件費	10,541 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	38,664 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度	
	救急車両	台	1	1	1	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	老朽化した車両の更新を図ることで、救急体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができるとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	救急体制の維持、強化のために、計画的な更新をしていきます。					
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010304

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
日新出張所庁舎建替事業		730,698 千円	千円	725,000 千円	千円	5,698 千円
消防本部 総務課						
根拠法令	消防法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的 建設以来38年が経過し、平成9年には耐震B判定とされ老朽が著しい防災拠点の改築を行い災害時における消防活動の充実強化を図り、消防体制の維持、強化を目的とします。 ・事業の対象 市民の生命、身体及び財産 					
事業の必要性	消防体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	SDGs17の目標  <ul style="list-style-type: none"> ・消防署日新出張所改築工事（主体、機械、電気） 					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	730,698 千円	担当正規職員	7,027 千円	1	人	
人件費	7,027 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用(フル)	千円		人	
総計	737,725 千円	再任用(ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	日新出張所庁舎建替事業		式	1	1	0
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	老朽化した庁舎の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができるのと同時に、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られ、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	関係課と調整を図り、令和元年度中に完成しました。					
特記事項						